



図書館 だより

図書館 ☎69・3706

今月の特集 「幸運」

今月は7月号です。「7」といえば、幸運の数字・ラッキーセブン！ そこで今月の特集では、幸せな気持ちにしてくれる本など「幸」にまつわる本を紹介します。



『天才バカボン幸福論』

バカ田大学しあわせ研究部／編
主婦の友
珠玉のコトバをマンガとともに紹介。



『幸運はデザインできる』

中野裕弓／著 大和出版
幸福への最短コースを歩くための
ショートストーリー&エッセイ。



『天才！成功する人々の法則』

マルコム・グラッドウェル／著 講談社
アメリカで人気のビジネス書著者が
新時代の成功論を説く。

分類特集は
「37」：(社会科学)
(教育)

37

家庭教育に
関する本！



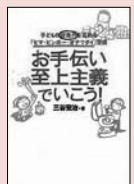
『ノートの書き方教科書 小学校低学年～高学年用』

山と溪谷社
「学ぶことが楽しくなる」ノートの
とりかたや活用のしかたを紹介。



『食育アイデアBook おやこで クッキングIN保育園テレビの本』

キッズステーション／著 チャイルド本社
保育園で実践された地域の食材を
生かした食育活動を紹介。



『お手伝い至上主義でいこう！』

三谷宏治／著 プレジデント社
わが子の生きる力を高める「与えず
ぎない」家庭教育論。

教え方、学び方の本は、「37」をご覧ください。
進路、就職に関する本もあります。

「平成23年度公約」

■目標は16万人

「15万でもいいじゃない」「間
をとって15万5千人でどうか」

飼育作業が一段落着いた昼下が
りに、スタッフたちは事務所に集
合して今年度の目標を話し合っ
ていました。

「いかん、いかん、いかん！
16万人を目指す！」

私はカバのような顔をして鼻息
荒く言い放ちました。

結局、今年度の「目標入館者数」



水族館



学芸員 小林龍二

竹島水族館
☎68・2059

は16万人に設定された。ジュウロ
クマンニン。これまでの竹島水
族館の入館者数やその傾向からし
て、かなり大きく出た数字です。
しかし、新しくできた水槽に自信
があつたし、頑張れば絶対達成で
きると私はカバ顔のまま思ったの
でした。

■地元調査

16万人というのは、単純に市民
の皆様が1年間に全員2回来ると
達成となる数字です。16万だあ！
と言ったものの少し不安になった
ので調べてみると、市内には年間

パスポートで1週間に3回も水族
館に来てくれる方もいます。年間
パスポートは2回半の入館料金で
手に入るの、完全に元を取って
いる。かと思えば、水族館ってま
だやっていたのかという方や、保
育園の遠足で行ったような気が
して、それから行っていないとい
う方、はたまた水族館の2階には
シーラカンスがおるって聞いたぞ
ん、ということんでもないことを言
う方もいた。これは先行きが心配。

公約としました。するとすぐに頑
張ってという声が聞こえてきてう
れしかった。反面、坊主が見
たいから水族館行くのどうしやう
かな、という方もいます。全員坊
主の水族館というのはお寺が経営
しているのか、みんな甲子園を目
指しているのか、とにかく不気味
なので皆さんどんどん水族館に
来て下さい。

みんな坊主が嫌なのでしよう、
4月からスタッフ総出で猛烈な勢
いを持ってテレビ・ラジオ・新
聞などのメディアに出まくって
水族館のアピールをしました。新
しくできた生き物に触れる水槽
も思った通り好評で人気。その
甲斐あって入館者はいまのところ
上々。坊主にはならんぞお。